



日本人の脳と外国人の脳

2016 年 10 月 4 日

M00000000 ○○ ○○

1. はじめに

第二回の授業で日本人のすごい理由は、「宗教や文化のタブーがない」・「カワイイとハイテクの融合」・「カワイイと実用の融合」と先生の見解を学習した。そこで私は、日本人と外国人にはもっとわかりやすい決定的な違いがあるのではないかと思い、脳について調べたのである。

2. 調査結果

インターネットを用いて日本人と外国人の脳について調査した結果、日本人と外国人の脳にはある決定的な違いがあることが分かった。それは、外国人の脳は情緒に関する泣き声、笑い声、嘆き声、母音、虫の音や動物の鳴き声を「右脳」で受け取って処理しているが、日本人はそれら全てを「左脳」で処理していたのである。

3. 考察

日本人の左脳には、言語能力の他に計算能力や分析能力、また時間的前後関係の能力という働きの知的能力と、笑い声、泣き声、嘆き声やハミング、動物の鳴き声や虫の音など、感情に訴え情緒を促す音を処理する情動の能力とが同居しており、日常の小さな変化を敏感に感じ取って感情的にとらえることができる独特の能力を持っているのである。

しかし、外国人は感情に訴え情緒を促す音はすべて右脳で処理しているので、それらの音はすべて雑音の一種にしか聞こえないのである。

したがって、私はこの違いから日本アニメ・ゲームの「幻想的な世界観」や「美しさ」などの根本的な違いが生み出されていて日本人のすごい理由につながるのではないかと考えたのである。

4. まとめ

日本人は外国人とは異なる独特の感性をもっていて、そこから日本独特のアニメ文化が生み出されるのではないかという、さらなる日本の可能性を見つけることができた。しかし、この独特の感性から日本人は冷酷にはなれないという弱みがあり、討論を苦手とすることもわかったが、ここでは割愛する。詳しくは参考資料をみてほしい。

5. 参考資料

日本人の脳と外国人の脳 - 不健康心・歪んだ認知

<http://yorokobuya.com/index.php?%E6%97%A5%E6%9C%AC%E4%BA%BA%E3%81%AE%E8%84%B3%E3%81%A8%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E3%81%AE%E8%84%B3>

⇒日本語は日本独自の感性を生み出している、面白い考察です。参考資料も面白かった。